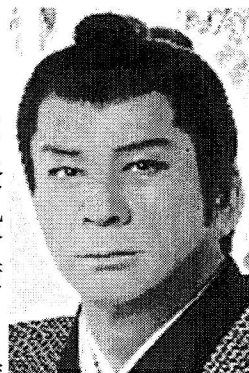


ご招待

杉良太郎舞台公演「もみの木は残った」

厚生労働省肝炎対策普及啓発国民運動「知って肝炎プロジェクト」をご存知でしょうか？

これを機として、一般社団法人日本肝炎対策振興協会が設立される運びとなり、今後さらに各種団体、企業様との連携や支援のもと、ウイルス性肝炎の予防及び治療に関する調査、知識の普及を目指しています。社団法人の設立にあたり、ブリストル・マイヤーズ株式会社様のご支援があり、肝炎対策普及啓発国民運動の実行委員長をされております杉良太郎様の新歌舞伎座1月公演が行われるにあたり、この支援のもと、会員100名様をご招待頂く運びとなりました。ご応募いただきお正月の一日をご家族でお楽しみ下さい。



○公演名：杉良太郎舞台公演「縦ノ木は残った」

○出演：杉良太郎、安田美紗子 など

○日時：2013年1月29日（火）11時開演（昼の部）

1月30日（水）16時開演（夜の部）

○会場：大阪 新歌舞伎座 大阪市天王寺区上本町6-5-13 上本町YUFURA

近鉄「上本町」駅南隣、市営地下鉄「谷町九丁目」駅下車東へ徒歩5分

○参加について 京都肝炎友の会会員（同伴2名まで）ご招待（参加費無料）

1月29日（火）50席分

1月30日（水）50席分

申込方法 巻末葉書で「杉良太郎舞台公演」希望と連絡先氏名・住所・電話番号、希望日、参加人数を明記の上、京都肝炎友の会までご返送ください。

先着順、〆切り1月15日必着。

申し込み先 京都府大山崎町円明寺西法寺1-7-13-206

FAX 075(573)9165 (野村)

杉良太郎自らの脚本・演出で本格時代劇に挑む！

杉良太郎自らの脚本・演出で本格時代劇に挑む。山本周五郎の長編時代小説「縦（もみ）ノ木は残った」の舞台化。

昭和33年発表の「縦ノ木は残った」は、江戸時代初期に仙台藩伊達家を襲ったお家騒動と藩取り潰しを狙う幕閣たちの陰謀を描いた

名作。主人公の原田甲斐は藩の重臣の一人で、歴史的には「騒動を起こした張本人」として極悪人視されているが、小説では、味方をも欺き、幕府の藩取り潰し計画に独り敢然と立ち向かう忠臣として描かれている。

〈産経新聞12/14記事抜粋〉

「知って肝炎プロジェクト」実行委員会

厚生労働省の肝炎対策の普及啓発を推進する為に設立された団体です。肝炎に対する関心を高め、肝炎の知識の普及、肝炎患者等への偏見や差別の解消を図り、肝炎総合対策を推進するために活動を展開しています。「知って肝炎プロジェクト」URL: <http://kan-en.net/>